

当事者視点をより充実した「新・京都式オレンジプラン」



特徴

1. 行政だけでなく、あらゆる関係団体や府民が行動すべき取組を明示
2. 当事者等によるプラン評価(10のアイメッセージ、本人ミーティング)を明記
3. 当事者等による評価で得られた声に重点を置いた施策

	京都式オレンジプラン	新オレンジプラン	新・京都式オレンジプラン
策定年	2013(平成25)年9月	2015(平成27)年1月(平成29年7月改訂)	2018(平成30)年3月
検討メンバー	医療・介護・福祉・当事者団体等から構成	厚生労働省及び関係省庁	医療・介護・福祉・当事者団体等から構成
実施主体	府・市町村・団体(医療・介護・福祉)・府民	国・都道府県・市町村	府・市町村・団体(医療・介護・福祉)・府民
計画期間	2013年度～2017年度	2015年1月～2025年	2018年度～2023年度(6年間)
実施項目	<p>【共通施策】 認知症ケアパスの作成・普及、ポータルサイトの公開、若年性支援ガイドブック作成</p> <p>【個別施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり 2. <早期発見・早期鑑別診断・早期対応>ができる体制づくり 3. とぎれない医療体制づくり 4. とぎれない介護サービス体制づくり 5. 地域での日常生活・家族支援の強化 6. 認知症ターミナルケアにおける対策 7. 医療資源の地域格差是正 8. 若年性認知症への対策 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症に係る普及啓発の推進 2. 認知症の容態に応じた適時適切な医療・介護の提供 3. 若年性認知症施策の強化 4. 認知症の人の介護者への支援 5. 認知症の人にやさしい地域づくり 6. 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進 7. <u>認知症の人やその家族の視点の重視</u> 	<p>【共通施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 10のアイメッセージの普及による当事者視点の浸透 2. 認知症に関する情報発信の充実 3. 地域の特性に応じた取組の推進 <p>【個別施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり 2. <早期発見・早期鑑別診断・早期対応>ができる体制づくり 3. とぎれない医療・介護サービスが受けられる仕組みづくり 4. 地域での日常生活や就労、社会参加等の支援の強化 5. 家族・介護者等への支援の強化 6. 若年性認知症施策の強化
プラン評価	当事者視点「10のアイメッセージ」	—	「10のアイメッセージ」評価及び本人ミーティングの実施